

2024 年 4 月 12 日

2024 年 3 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参、金融で動きがみられたが、仕事量の減少もあり小ロット案件が中心で前年を下回った。
巻取も学参、生損保、チラシに大口案件がみられず、年度末とは思えない荷動きで前年を大幅に下回った。
（前年比 平判 94.7% 巻取 86.1%）

再生紙平判は入札案件の受注増加がみられたが、大口案件が少ないため前年を下回った。
再生紙巻取は定期案件に加え、役所、官公庁にも動きがあり前年並みに推移した。
（前年比 再生上質平判 90.2% 再生上質巻取 98.8% 再生上質計 94.9%）
（前年比 印刷用紙 A 全体 92.9%）

<A2 コート>

平判は旅行関連印刷物、カタログ、パンフレットで一部動きがあったが、全体的に動きが乏しく、グロス、マット共に前年を下回った。
巻取はスーパー、ディスカウント、デリバリーで動きがあったが、雑誌、カタログの落ち込みが継続的に続いており、グロス、マット共に前年を下回った。
また昨年は価格修正の時期と重なり仮需の動きがあったため、全体的に前年を大幅に下回った。
（前年比 平判 91.8% 巻取 89.0% 全体 91.1%）

<A3 コート>

スーパー、量販店、ドラッグストア、デリバリーの定期的なチラシ案件の動きは見られたが、学習塾、金融、生損保の動きが継続的に鈍く、前年を大幅に下回った。
（前年比 平判 78.7% 巻取 85.7% 全体 83.6%）

<ノーカーボン紙>

平巻共に前年の価格修正の仮需の反動や期末製品在庫調整もあり、大幅に前年を下回った。
巻取は前年に高齢者ワクチン接種案件が動いたこともあり非常に厳しい結果となった。
（前年比 平判 75.2% 巻取 54.9%）

<上質フォーム>

自治体の納付書案件の動きは見られたが、後半は失速。保険証カード台紙の動きもスタートが遅れており、民間スポットの動きもなく、前年仮需影響も重なり前年を大幅に下回った。
（前年比 70.9%）

<包装用紙>

特殊両更、両更晒、色クラフトは、一般企業向け、役所向けの年度末需要もほとんど無く全般的に低調な動きであった。

（前年比 特殊両更 87.3% 両更晒 89.8% 色クラフト 74.6%）

軽包装は繁忙期としては印刷用紙の動きが全体的に良くなかった影響で、製本会社向けの雑包装用途の動きも鈍く前年を下回った。

（前年比 90.1%）

片艶晒は贈答用の一部包装関連に動きが見られ、供給不足の為に低調であった前年を上回った。

（前年比 110.2%）

純白ロールはお彼岸の生花向けや年度末の贈答品の包装紙などに動きが見られ前年を大きく上回った。

（前年比 126.9%）

包装紙全体では 88.5%と前年を下回った。

<板紙>

コートボールは物価高の影響が長引き、BOX ティシュのソフトパック移行など日用品は低調であった。

食品関連はコンビニエンスストアなどの食品ロス問題での在庫調整があり動きが鈍かった。

特板は化粧品など一服感があり、前月ほどの動きはなかったが、POP やエンタメ系などに一部動きがあった。

チップの貼合品は価格修正での斤量ダウン、あるいは他の紙への変更の影響からか数量が減っている。

また、エンタメ、音楽関係のパッケージ等も振るわず低調であった。

全体では昨年を下回った。

（前年比 96.5%）